



ハートラちゃん教室

～プールでの事故予防～

プールは、楽しいだけじゃなくて、
体力づくりにも効果的な場所。
でも、危険もかかれています。

先日、プールで水泳教室中の子どもが
亡くなったニュースがありました。
心を痛めている方も
多いのではないのでしょうか。

今一度、
プールの危険な場所や行動について、
ふりかえってみましょう！

このなかで、危険と
思われる場所や行動を
探してみましょう！



答えはこちら!

いくつか見つけられましたか?



- ① プールサイドは濡れているので、すべりやすく、走って大けがすることがあります。
- ② 監視台の下は、監視員の目が届かないこともあります。
- ③ プールの中に人がいることに気づかず、飛び込んでけがをすることがあります。
- ④ 急に足がつかなくなると、パニックを起こしておぼれることがあります。
- ⑤ Uターンするところなどは、混みあってぶつかりやすいです。

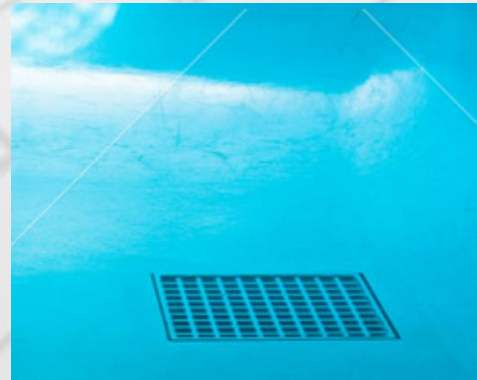
ほかにもあります! 危険な場所



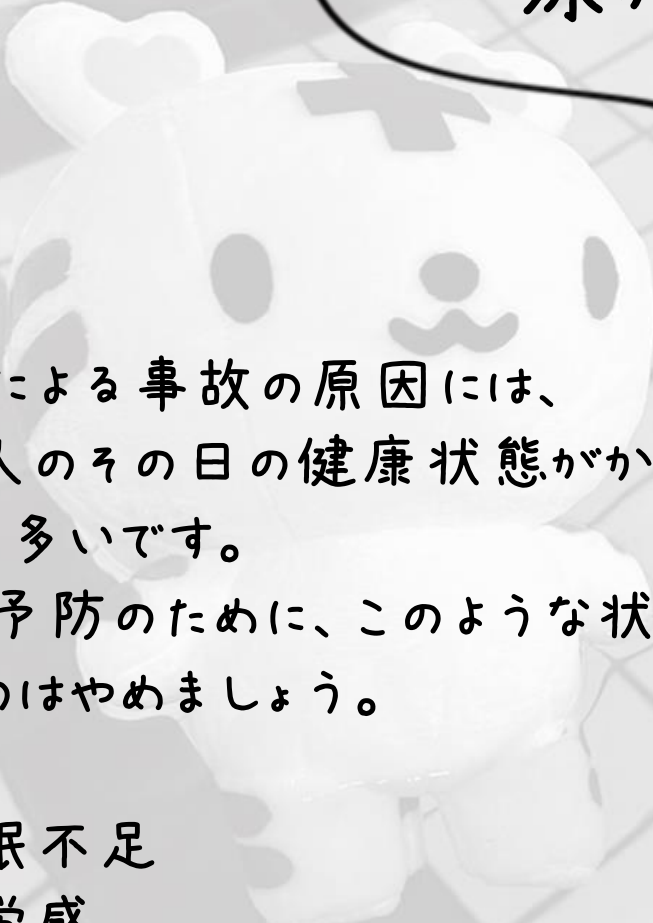
「はしご」の近くでは、手や足をすべらせたり、出るときにふらついて事故になることもあります。



「スロープ」や「階段」の近くは、障害のある人や多くの人々が利用するところなので、遊ばないようにしましょう。



排水口の近くは、吸い込まれるような強い流れがあります。遊泳やいたずらはやめましょう。



こんなときは
泳がないで!

水泳による事故の原因には、
泳ぐ人のその日の健康状態がかかわっていることが
かなり多いです。

事故予防のために、このような状態のときは
泳ぐのはやめましょう。

- 睡眠不足
- 疲労感
- 空腹感
- 食事直後
- 飲酒・二日酔い

プールに入る前に 必ず確認!

- ◆ライフジャケット
- ◆アームヘルパーなどの浮き具



正しく着用できているか確認しましょう。
ゆるいと脱げてしまう可能性があります。

目を離した一瞬のすきに、
溺れてしまうケースが多々見られます。
保護者の方は、子どもから目も体も
離さないでください!

ルールを守って
楽しく泳ぎましょう！





もっと知りたい人へ

★日本赤十字社埼玉県支部の
ホームページから講習会に申し込んでね!

★日本赤十字社埼玉県支部
公式YouTubeの動画もみてね!